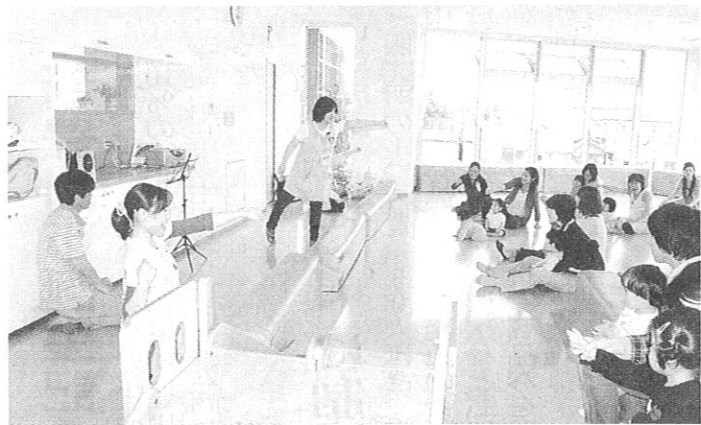


# 保育士さんボランティア



ボランティアの保育士とともに楽しむ親子連れ(ここにこで)

同館では、毎週火曜日に市内保育園の保育士がボランティアとして、歌や手遊び、エプロンシアター、読み聞かせなどを行っている。この交流連携はとも好評で入園前の親子でにぎわいを見せている。

同連携事業は昨年6月からスタートし、現在は豊橋市内の明照、ひまわり、正林寺、岩田、東部、玉川、円通寺、豊南、高塚、あしはら、ひばり、杉山の12保育園が協力している。

各保育園では通常開園している中で、保育士を同館に派遣することに關して中島園長は「各園では子育て相談、支援を行っているが、保育園側が園内だけではなく、外に出て行くことが必要。保育士も地域の保護者ではなく、知らない街の保護者と接する事でレベルアップが図れるのでは」と分析する。

「子ども未来館(ここにこの尾川克也館長は「保育園のご協力は大変ありがたく、皆さんにより身近な施設として利用していただくためにも、保育園ボランティアさんとの連携を大切にしていきたい。多くの利用者から次の火曜日を心待ちにしているという声を聞く。こうした輪がたくさん広がることを期待しています」と語った。

現在、毎週火曜日に3園から各1人の保育士が同館「子育てプラザ」で、午前10時から2時間ほど、親子で楽しめる企画を行っている。この25日には中島園長のほか、明照、東部、ひばりの3園から保育士が参加。会場には、64組の親子連れが一緒に絵本の読み聞かせや手遊びを行った。「地域

「赤ちゃんは私たちが考える以上に社会的だと言われており、いろいろな人のかかわりを求めている。みんなと一緒に楽しむことで、刺激を受けることができると思います。また、0歳から3歳の保育園、幼稚園に入園する前の子どもを持つお母さんは孤立しがちだが、この機会を通じて友だちを増やしてもらいたい」。民間保育園と豊橋市子ども未来館(ここにこの交流のリーダー役・中島章裕・明照保育園長は語る。

## 子ども未来館へ出張し世話 今、12保育園が協力

豊橋

地域を

発行所/東  
〒440-0874  
愛知県豊橋市



東日誌

美術工  
んが、  
する。

上ノ郷城

蒲郡市  
郷城跡と  
丸の入  
段が協道

「ほっ



とりあえず、お好きな曲を「両手」で一曲

ピアノ(キーボード)科

●入学随時 ●完全個別レッスン(個人別スケジュール) ●1,500円/回(時間)

大人ののための 音楽教室 豊橋市魚町86(神明公園西) ☎(0532) 56-0860

(高松太郎)

て来たのだ」の言葉の意味がある程度分かったのは30歳を過ぎてからだった。言葉というものは忠義なもので、人から聞いて記憶に残った言葉は、その瞬間に意味が分からなくても、次第にその意味が分かる時が来る▼それが年を取ることの1番良いところではないかーという車谷は「颯風(ひょうふう)(講談社)の中で「なぜ人は小説を書くのか」に「人は死ぬからです」と答えている▼車谷は深澤七郎著「樞山節考」を明治以来の最高傑作と評価、作家になるにはまず何よりも「人間を見る目」「人間を意地悪く見る目が必要」だという▼車谷の小説は読んで、読む人が読むだけで自分が人間であることがいやになるような内容であり、そんなものを書いているのだからストレスがたまるのは当然でしょうーといわれた。